



小布施  
ココロ  
あそび  
2018 夏

おかげさまで 210周年

桜井  甘精堂

ページをめくるとココロは日常を離れ、小布施へあそぶ…そんな時間になりますように。



## 栗アイス小布施

乳化剤も安定剤も使っていないので、  
小さなお子様にも安心して召し上がって  
いただけます。



# 夏のカラダに、 滋味の力

▲白い花が咲く夏の栗畑

遊び疲れた夏の午後、縁側で足をふらふらさせながら、夢中で食べたアイスクリーム…そんな思い出はありませんか？

夏にも栗をおいしく食べていただけのよう、栗菓子屋ならではのアイスクリームを作りました。

コンセプトはいつも通りシンプルです。良い材料を惜しみなく使い、安心・安全でないものは一切使わない。

原料は標高1100mの木曾開田高原で育つ健康な牛の乳と弊店の栗餡、生クリーム、卵黄。安定剤は使わず、代わりに寒天を少々。乳化剤も使っていないので冷凍庫から出したてはカチカチですが、お茶のしたくが整う頃にはちょうどいい軟らかさになっています。

暑さなんてへっちゃらで遊びまわっていたあの頃を思い出させてくれるお子様やお孫様に、大切な方に、そしてあなたに、安心して安全な栗アイスを召し上がっていただけたら幸せです。

今年も栗餡ペースト付きもご用意。お皿に盛りつけてトッピングすれば、栗の風味がますます豊かな優雅なスイーツのできあがりです。







穂高町に生まれ、生涯、自然豊かな信州を出ることがなかった洋画家・小林邦。しかし、その受賞歴は国画会展3年連続奨励賞、日展特賞など輝かしい。

身の回りの自然を愛情深く見つめ、明るい色使いと天真爛漫な構図が小林の特徴と言われるが、この「アザミ」はまさにその真骨頂のような作品だ。口癖は「上手に描こうと思うな、自分自身に忠実であれ」。

「カラオケの十八番は『あざみの歌』』と微笑む弊堂七代目がこの作品に惹かれたのは、信じた道をまっすぐに歩んできた自身の生き方と共鳴したからなのかもしれない。



## 油彩「アザミ」

こぼれくりに  
小林邦 作  
縦410mm×横274mm

-----  
[小さな栗の木美術館] ■開館時間10時30分～17時 ■火曜定休

「長野に住むことができて良かった！」と玉木さんは言い、東京海上日動火災保険(株)で磨いた企画力を発揮する地域鉄道トップの目は、少年のように輝いた。週末はしなの鉄道沿線を訪ね歩き、そこで食べた果物や野菜の別格のおいしさに、「おいしさの宝庫」と確信した。

都心から近く、年間840万人が訪れる軽井沢を沿線の玄関口とし、「しなの鉄道でつながるおいしさの宝庫へご案内したい」と話す。

日本一のレストラン列車を目指す「ろくもん」では、沿線の名店が自慢の料理で大人の舌を唸らせる。弊堂カフェ

も入る旧軽井沢駅舎記念館を駅として復活させ、駅ナカ施設もオープンさせた。玉木 淳 [たまき・あつし] 「起点となる軽井沢駅から、沿線の魅力を発信したい」からだ。

「地元の方々には『当たり前』のものの中に宝物が沢山ある。弊社が各地の魅力をつなげるブドウの茎のような役目を果たし、手を携えて共に発展できるような力を尽くしたい」。その目は一段と光を帯びた。

# 08

SAKURAIKANSEIDO

玉木 淳 [たまき・あつし]

1970年 新潟生まれ  
しなの鉄道株式会社代表取締役社長



撮影場所：弊堂売店もある軽井沢駅  
「しなの屋 KARUIZAWA」前





弊社は今年、お陰様で創業210年を迎えることができました。  
初祖・桜井幾右衛門が小布施で初めて栗落雁を作ったのは、江戸時代後期1808年のことです。

日本史を紐解けば「江戸湾（東京湾）沿岸の砲台修築を起工」[間宮林蔵が樺太を探検し間宮海峡（タタール海峡）を発見]。こんな出来事が並んでいます。

この時代から、戦時中の一時期を除き、今日まで栗菓子を作り続けてきました。当たり前のことをきちんとやる。挑戦を忘れない。その積み重ねの先に、そして、それを良しとしてくださった皆様によって、この210年間があります。

その歳月の重みを噛みしめ、歳月に胡坐をかくことを戒め、この先50年、100年と精進を続けて参ります。

「土地は先祖からの授かりものではなく、子どもたちからの預かりもの」というネイティブアメリカンの言葉のように、子どもたちへ、まだ見ぬ孫たちへ、胸を張って“返す”ことができる栗菓子屋でありたい。決意を新たにす210年目の初夏です。

桜井甘精堂九代目・桜井昌季



◀釜で練った栗かの子を容器に詰める作業風景（昭和初期）

栗ようかん、栗かの子づくりは戦後まで、母屋の一画で家族とわずかな職人だけで行われ、繁忙期の秋には大勢の小布施の人々が働いてくれました。

# シゴトノココロ

| VOL.4 | 本社・通販部 山崎 由美子（やまざき ゆみこ）

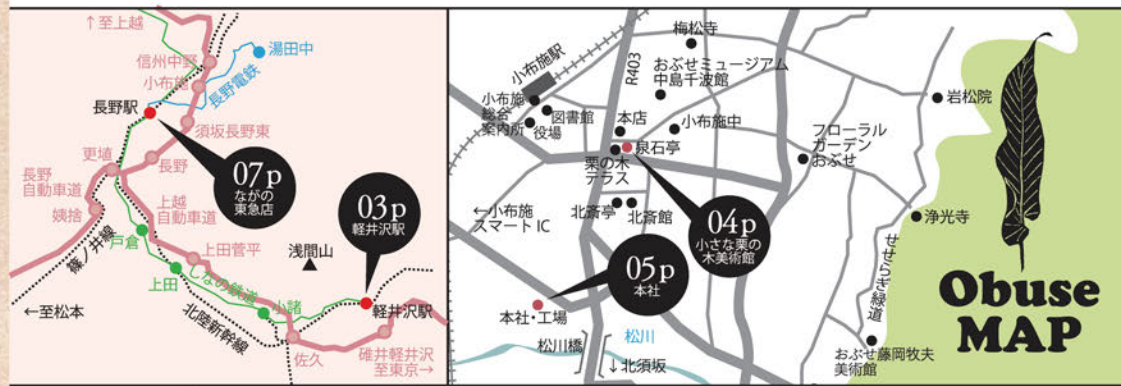
## 大切にしているのは、「慮る」気持ち

ネットでのご注文も増えましたが、ご年配のお客様は電話が多いですね。商品のご相談のほか、「完治はしていないが、退院のお知らせとしてお送りしたい」「結納に伺う時の土産に」など様々な場面での熨斗のご相談もあります。ご主人様が亡くなられ、「主人の好物が懐かしくて」とお話しくださるお客様や、小布施の天候をご心配いただくことも。お客



様が今どんな心情かを慮り、顔は見えなくとも笑顔で話すよう心がけています。

箱の大きさも寸法をお伝えするだけではなく、お声やお話しぶりから察する年代に応じて「小さなお重箱くらい」「A4用紙くらい」とお客様がイメージしやすい例えを付け加えます。ご進物はどんなシーンでお使いなのかをよく伺い、ご希望通りのものをお届けできるよう努めています。「この前のはとても良かった」と言っていただけとうれしいです。



小布施へのアクセス

お車で ● 上信越自動車道「小布施スマート(ETC専用)I.C.」から5分「信州中野IC」から7分「須坂長野東IC」から15分

電車で ● [東京駅から]北陸新幹線(約1時間45分)→長野駅  
● [新大阪駅から]東海道新幹線(約55分)→名古屋駅  
→特急しなの(約3時間)→長野駅  
● [金沢駅から]北陸新幹線(約1時間)→長野駅

「長野駅」からは「長野電鉄」特急で最短22分→小布施駅





紹介者:坂本 優衣(さかもと・ゆい)  
 地元なので友人が買いに来てくれることも。  
 趣味は夫とダブルスを組むボドミンソン。

# 1 shop 9 桜井甘精堂「ながの東急店」

## 言葉の奥にあるものを感じる力を



栗のカステラロール

ながの東急店は「ここが好きで、代々買い物はここ」とおっしゃるお客様が多くいらっしゃいます。年齢層も20～70代と幅広いです。栗菓子屋3店が並ぶキビシイ環境(笑)ではありますが、だからこそ両店から学ぶことも多いです。

お客様にお声がけるタイミングなどは体得するしかありません。お客様の発する言葉から何を、どんなものを求めている

らっしゃるのかを想像し、持ち運び易さやお渡しするまでの期間など見落としがちな点もお伝えするよう心がけています。

東急店限定の「栗のカステラロール(380円)」はモチモチした生地が特徴で、栗餡の入ったクリームに、さらに栗がゴロゴロ入り食べ応え抜群です。

どの品も「どこに出しても恥ずかしくない」と言って頂けることが多いので、見せ方、伝え方をより一層工夫していきたいです。



■営業時間/10:00～19:00 ■休/ながの東急に準ずる

### 1/9 shop LIST

|        |   |                      |  |
|--------|---|----------------------|--|
| 本店     | 〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施774<br>TEL.026(247)1088         | ながの東急店               | 〒380-8539 長野市南千歳1-1-1<br>ながの東急地階 TEL.026(229)9707                        |
| 泉石亭    | 〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施779<br>TEL.026(247)5166         | MIDORI長野店<br>甘味屋幾右衛門 | 〒380-8543 長野市南千歳1-22-6 JR長野駅<br>MIDORI長野2階 TEL.026(219)6141              |
| カフェ茶蔵  | 〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施779<br>TEL.026(247)5601         | 軽井沢駅店                | 〒389-0102 北佐久郡軽井沢町大字軽井沢<br>1178-1181(軽井沢駅3Fしなの鉄道改札口)<br>TEL.0267(48)6001 |
| 北斎亭    | 〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施810-3<br>北斎館よこ TEL.026(247)5740 | 茶葉 幾右衛門              | 〒389-0102 北佐久郡軽井沢町大字軽井沢<br>1178-1246(しなの鉄道軽井沢駅旧駅舎口)<br>TEL.0267(42)9966  |
| 栗の木テラス | 〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施784<br>TEL.026(247)5848         |                      |  |

### 小布施ココロあそび vol.8 2018年6月発行

桜井甘精堂  
本社企画室

〒381-0298 長野県上高井郡小布施町2460-1 (日・祝休み)  
Tel 026-247-2132 Fax 026-247-5142  
mail: planning@kanseido.co.jp

<http://www.kanseido.co.jp/>

